



① 発売日の市役所販売所。大型連休を前に、券を買い求める人が訪れた ② 第2弾そうじゃ復活券の見本



そうじゃ復活券



とくとくキャンペーン

市内の消費を喚起し、地域経済を活性化させるため、登録店舗で使えるプレミアム付商品券「第2弾そうじゃ復活券」を発行。4月28日に販売を開始しました。

消費を喚起し市内経済を活性化

問い合わせ 企業誘致商工振興課 (☎08276)

第2弾そうじゃ復活券販売開始

そうじゃ復活券の販売は昨年10月に続き2回目で、前回より10%高い50%のプレミアム率。1冊5000円で7500円分の商品券として使えます。全市民が1人2冊まで購入可能。市役所、各出張所、各公民館、天満屋ハピータウンリブ総社店で、12月31日(金)まで販売しています。登録店舗は、5月14日現在で538店舗です。

また、取扱店でそうじゃ復活券を使用すると抽選で豪華景品が当たる「地域の小さなお店を応援しよう! とくとくキャンペーン」も実施中です。

詳細は、市ホームページに掲載しています。



大型物流倉庫3棟目 GLP 岡山総社Ⅲが起工

外観完成イメージ。手前左側の棟が GLP 岡山総社Ⅲ

日本GLP株式会社が長良地内に物流倉庫「GLP岡山総社Ⅲ」を開発するとして、4月22日に整備予定地で起工式が行われました。

式には、関係者約20人が出席。同社の帖佐義之代表取締役社長は、「総社市は、西日本の広域配送に優れた立地。物流拠点は市民とないが、一般の人も利用可能な売店などを整備し、開かれた施設にしたい」と述べました。

倉庫は、両備ホールディングスが開発・運営する岡山総社IC流通センター内に整備。稼働中のGLP岡山総社Ⅰ・Ⅱに次ぐ3棟目となります。延床面積は約3万2000㎡で、地上3階建ての耐震・鉄骨造。1階は飲料などの重い荷物保管に対応できるように、耐荷重を強化します。完成は、来年3月を予定しています。

問い合わせ 企業誘致商工振興課 (☎08276)

民生委員・児童委員

地域での声掛け・見守り活動に加え ワクチン接種のサポートに取り組む

5月12日の民生委員・児童委員の日に合わせ、総合福祉センターで見守り結団式が行われました。委員を代表し、各地区の会長らが出席。全ての方が安心して暮らせるよう、地域での声掛けや見守り活動に尽力することを改めて確認しました。市からは、新型コロナワクチンの接種について、申し込みなどのサポートが必要な人への協力もお願いしました。

問い合わせ 福祉課福祉総務係 (☎08264)



市民生委員児童委員協議会の川田一馬会長は、「ワクチン接種の支援も、私たちにできることをやってみよう」と話した

市川市と災害時相互応援協定締結



協定書を手にする片岡市長と村越祐民市川市長(写真右から)

5月13日、市は千葉縣市川市と、災害時における相互応援に関する協定を締結。オンラインで協定締結式を行いました。

協定では、大規模災害が発生した際に、食料や物資の供給、職員の派遣などを行うことを約束。県外自治体と同協定を締結したのは、37自治体目です。

問い合わせ 危機管理室 (☎08599)

三幸製作所と市地域自立支援協議会が連携 障がい者福祉事業所が 医療機器部品製作へ

埼玉県の医療機器メーカーである株式会社三幸製作所が、市地域自立支援協議会の日中活動事業所連絡会に対し、医療機器部品の製作を委託。障がい者福祉事業所が初めて医療分野の仕事へ参入することになりました。製作するのは、たんなどを吸引する機器の一部。吸引バッグの先端部分を組み立てる作業を担います。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎08269)



市内の障がい者福祉事業所が部品を製作する吸引器



ひきこもり支援を行う西部地区の居場所 「ほっとタッチぽえむ」開設

4月15日、ひきこもり状態にある人への支援事業の一環として、詩人である難波道子さん(上原)の自宅を借り、社会復帰に向けた居場所となる拠点施設「ほっとタッチぽえむ」を開設。当面は週に1回程度、市社会福祉協議会が運営するひきこもり支援センターの支援員などが相談に当たるほか、自由に過ごせる場所として活用します。

支援拠点施設は、中央一丁目地内の「ほっとタッチ」に続き2カ所目です。

問い合わせ ひきこもり支援センターワンタッチ (☎08597)